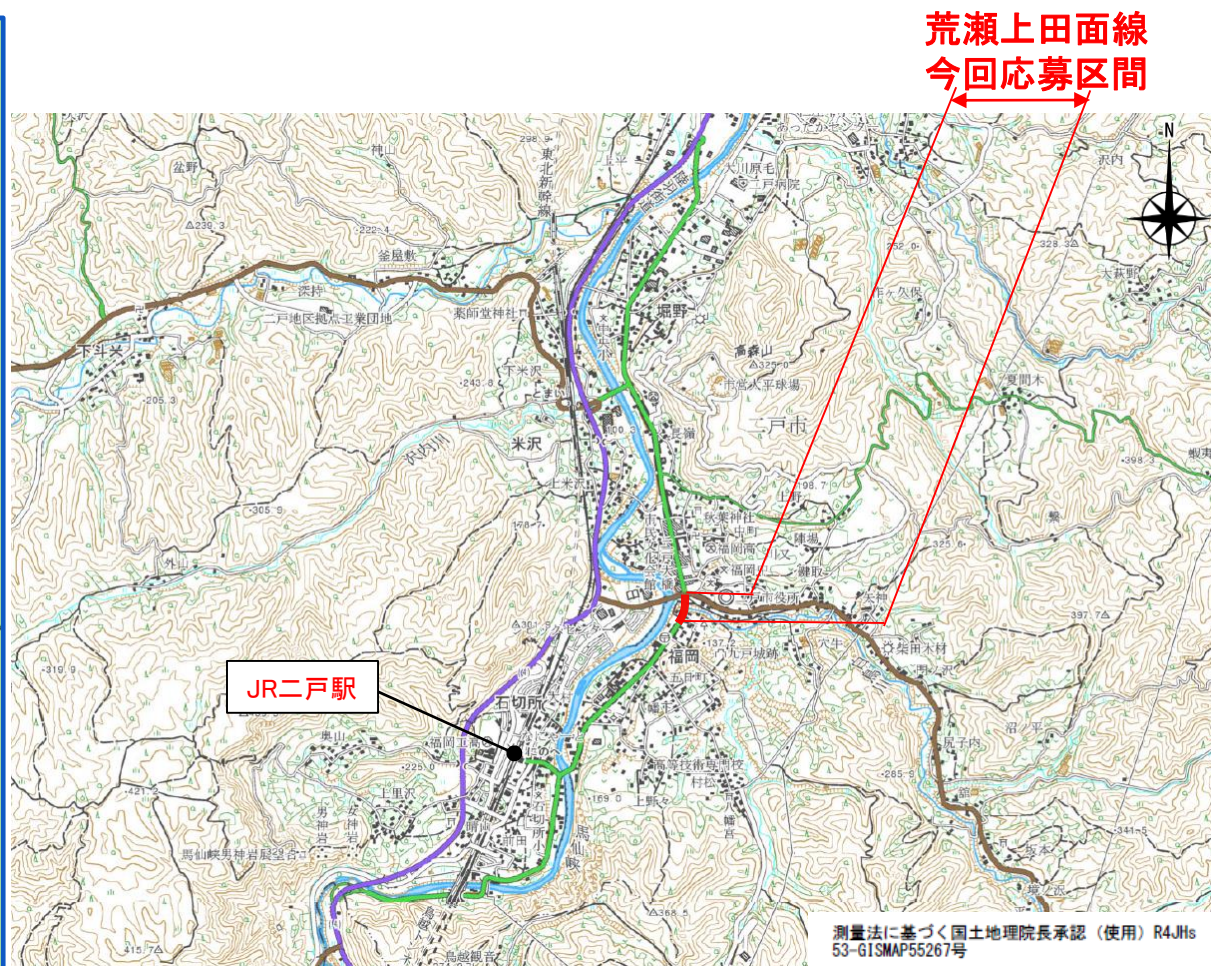
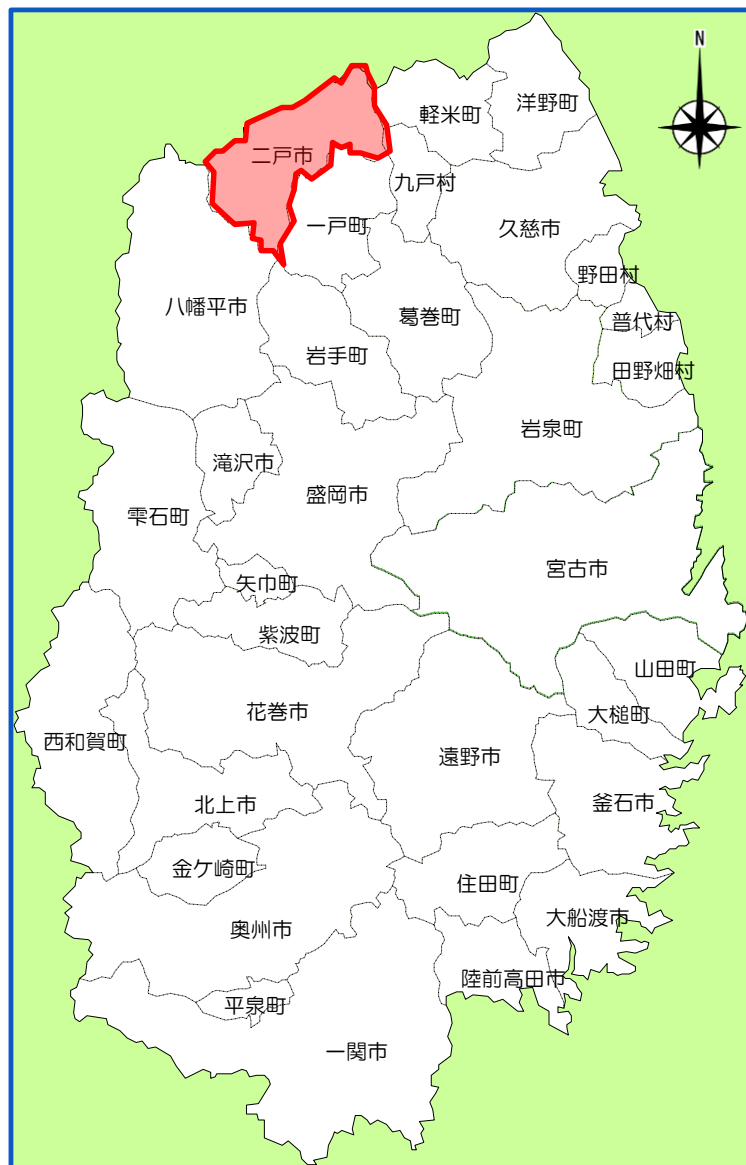


事業概要

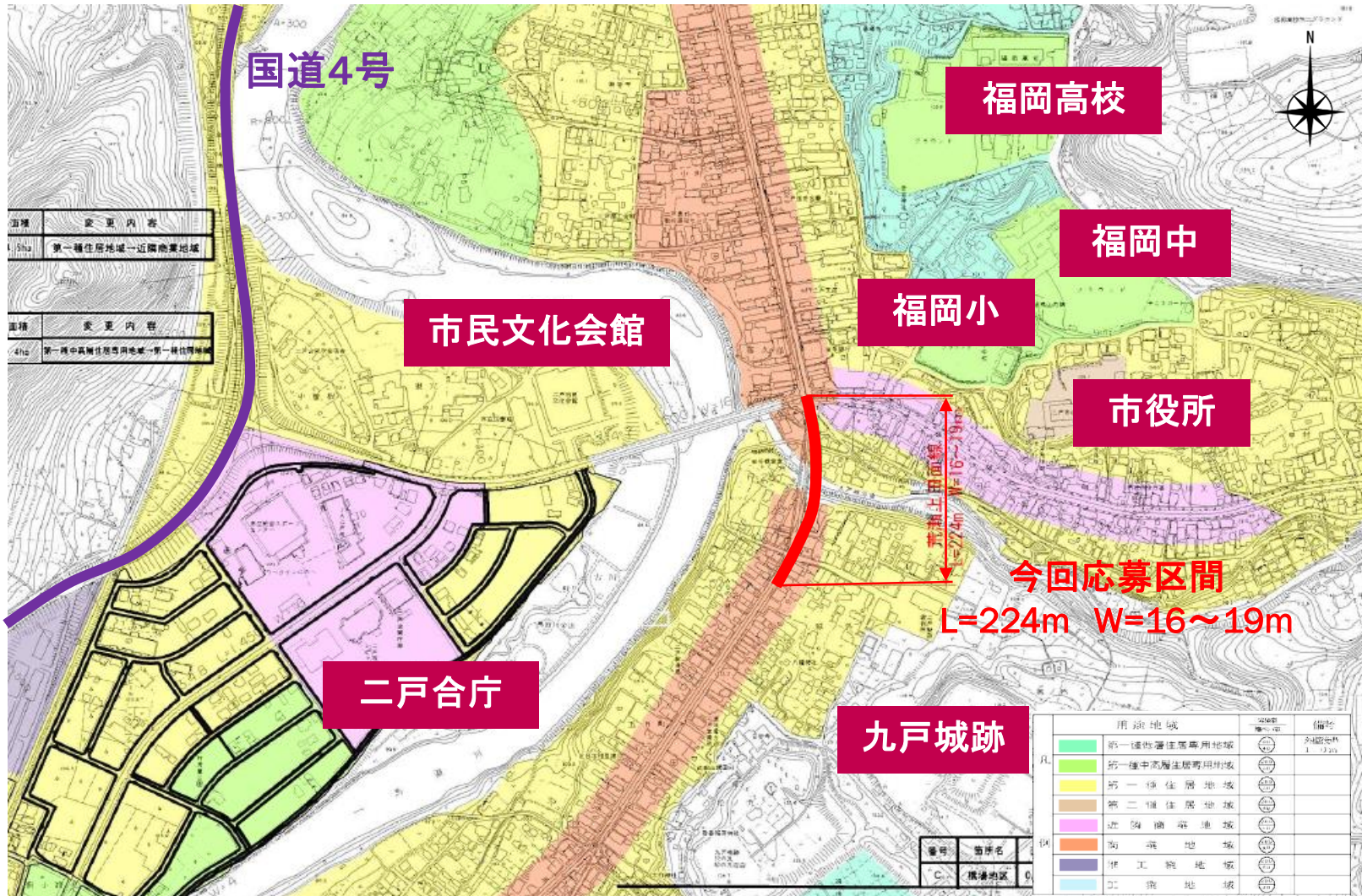
(岩手県：(都) 荒瀬上田面線)

応募No.	2		
事業主体	岩手県	事業箇所	岩手県二戸市
応募者名	岩手県 県北広域振興局土木部二戸土木センター		
ふりがな 事業名称	にのへとしけいかくどうろじぎょう あらせかみたおもてせん 二戸都市計画道路事業3・4・2号荒瀬上田面線		
事業概要 (400字以内)	本事業は、二戸市の中心市街地を南北に縦断する幹線街路であり、円滑な交通の確保と安全で快適な歩行空間の創出を図ることを目的として、平成24年に事業認可を取得し、平成28年から岩谷橋の架け替えに併せて線形及び交差点の改良を実施したものである。 近隣には市役所等の公共施設や小中学校があり、また、沿道には商店街が形成されているため、迂回する仮橋を設置できない制約がある中、車両や歩行者の通行を確保しながら、片側ずつ切り替えながら、橋梁の架け替えを実施したものである。 初代岩谷橋は、明治21年に建設され、市民から愛される橋として、大正、昭和の架け替えを経て4代目となることから、「景観ワークショップ」や「景観懇談会」などを開催し、地域からの提言を踏まえて「自然や歴史を感じながら歩いて渡る橋」を基本コンセプトに整備したものである。 また、橋の袂には二戸市の協力を得て、周辺の景色や観光を楽しみ、歴史を感じられるよう橋詰広場を整備した。		
事業規模	事業延長(km)	約0.2km	
	幅員(m)	16.0m～19.0m	
	事業期間(和暦)	平成22年度～令和6年度	
	事業費(億円)	約32億円 少数以下は四捨五入してください。	
受賞歴	有・ 無		
URL	https://www.pref.iwate.jp/kenpoku/nino_doboku/1015053/1015061.html		

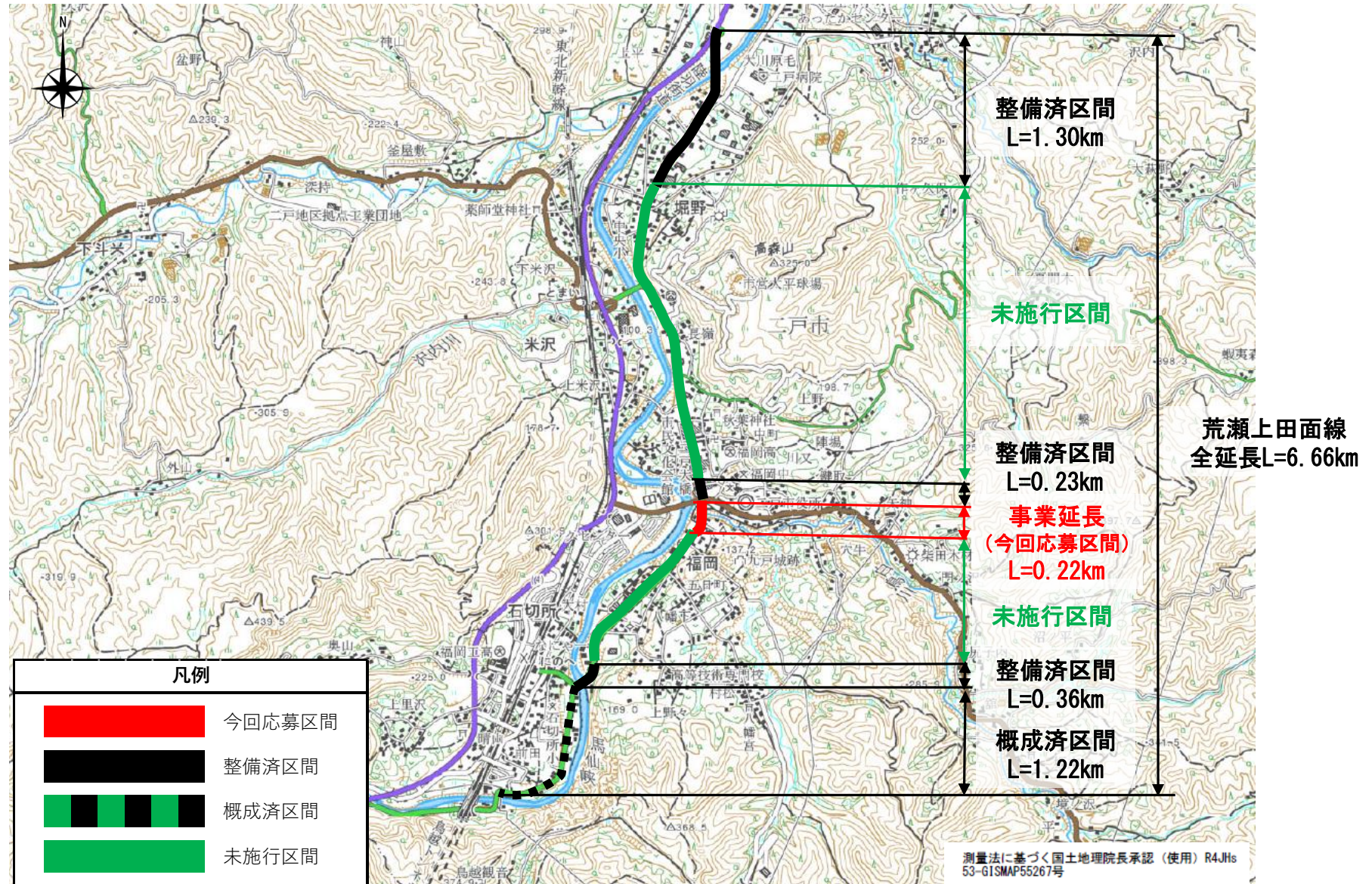
事業位置図



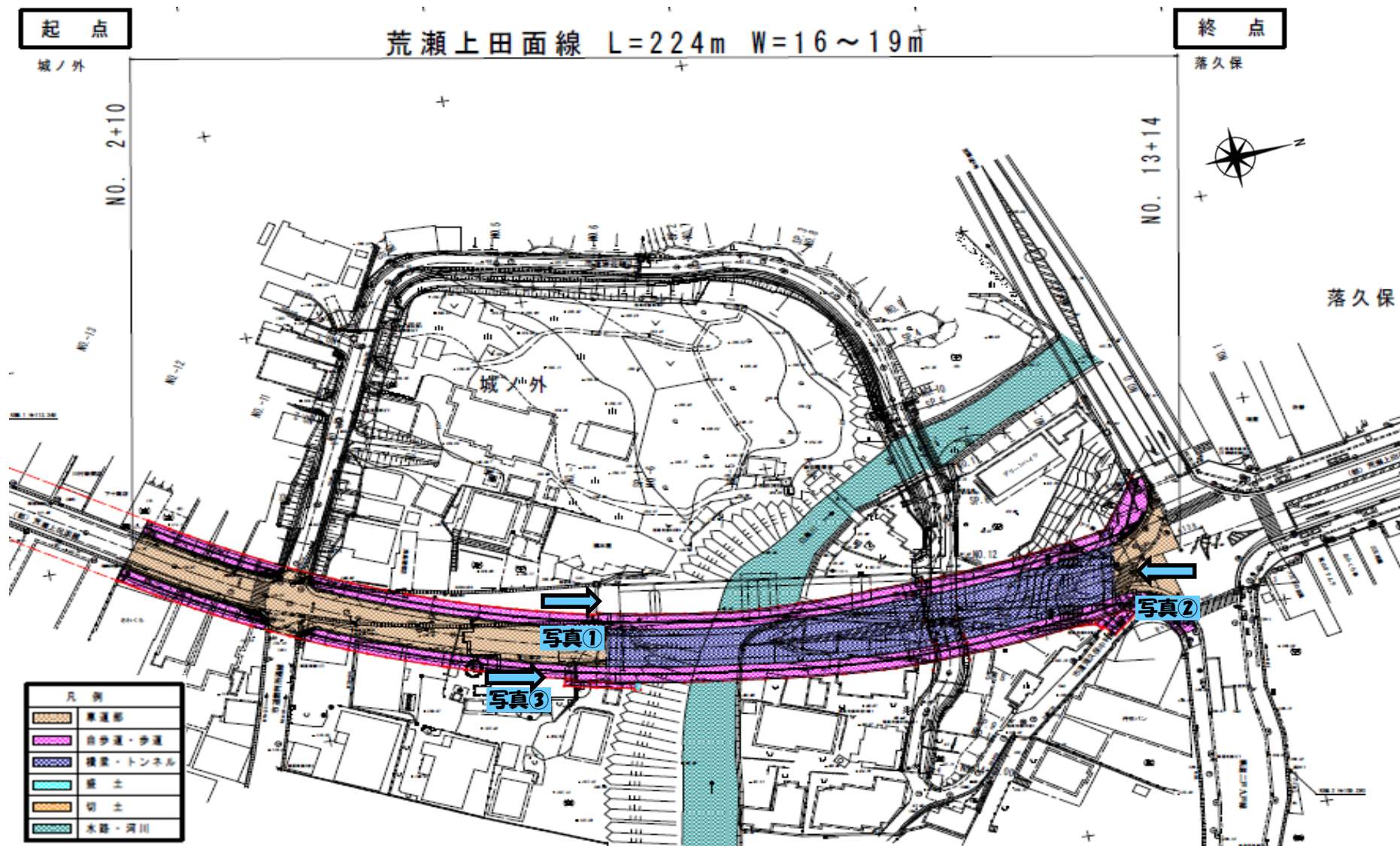
都市計画図(用途地域図)



路線全体の進捗状況

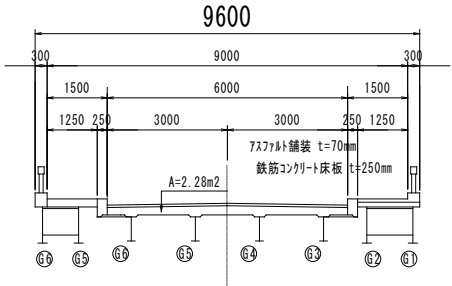
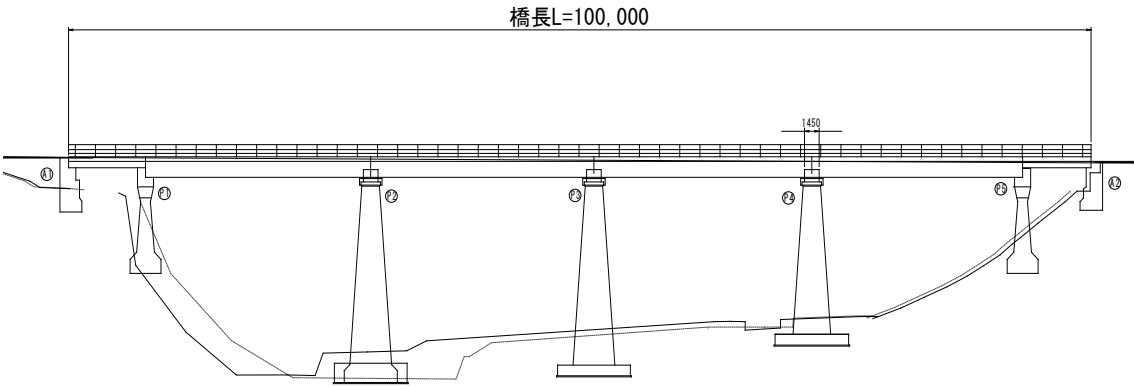


平面図

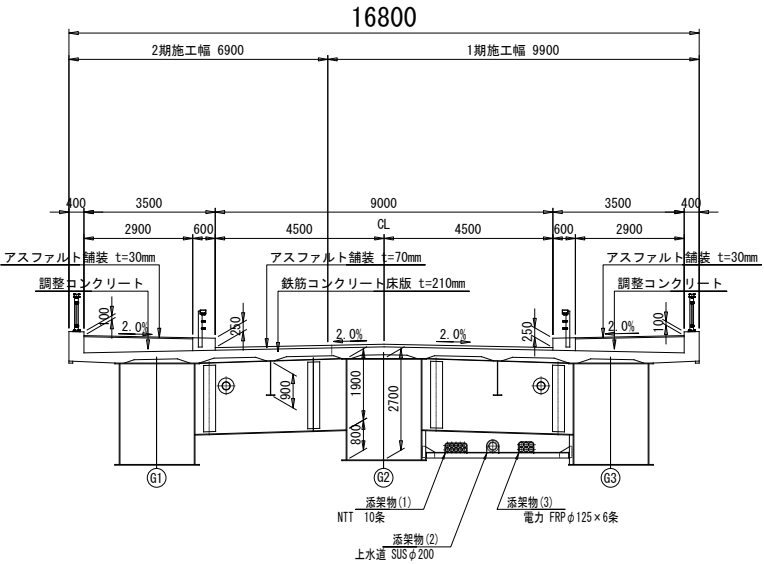
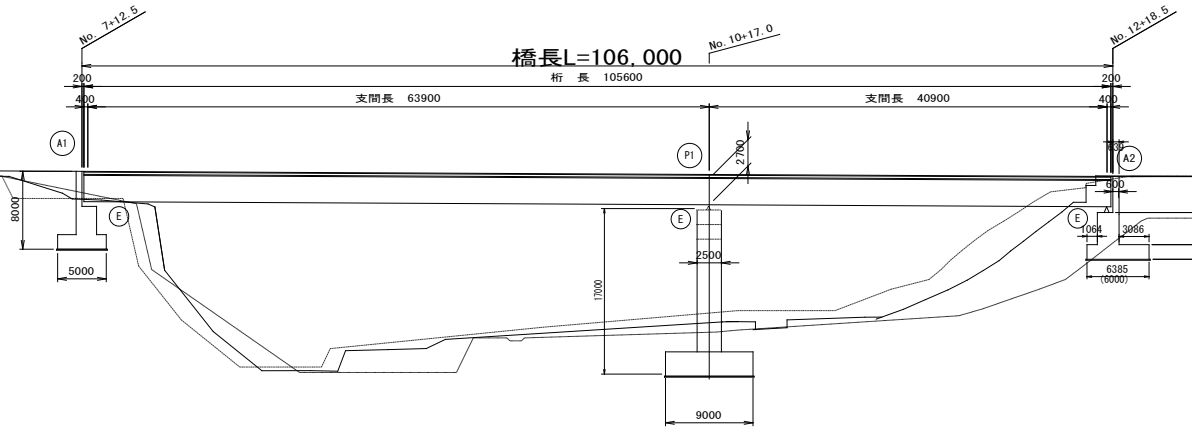


側面図・横断図

事業前



事業後



事業前写真

事業後写真

(岩手県：(都) 荒瀬上田面線)

写真①



平成24年2月撮影

写真②



平成24年2月撮影

写真①



令和6年6月撮影

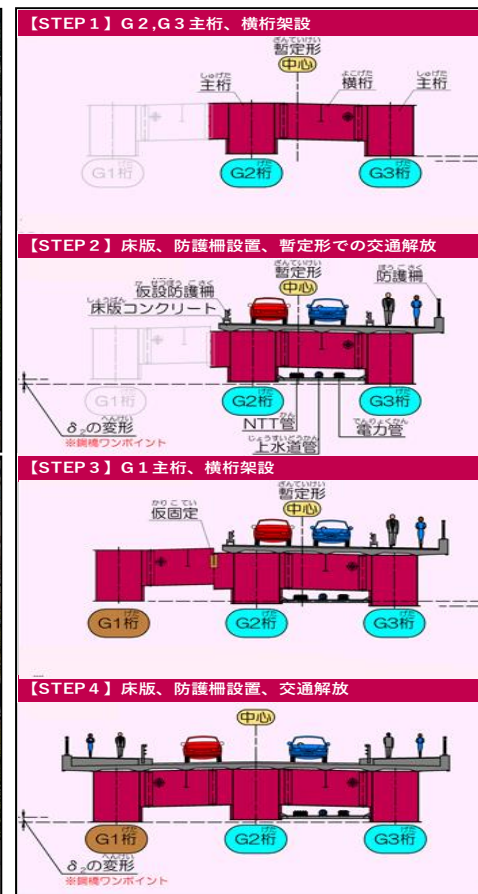
写真②



令和6年6月撮影

写真③

岩谷橋の架け替えにあたっては、迂回する仮橋の設置が困難なことから、部分的に仮の橋を設置するなど、車両や歩行者の通行を確保しながら、片側ずつ切り替えながら施工する必要があることから、難易度が高く、完了までに時間を要する工事となった。

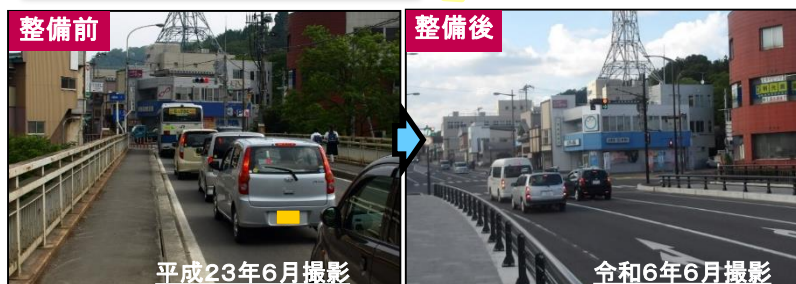
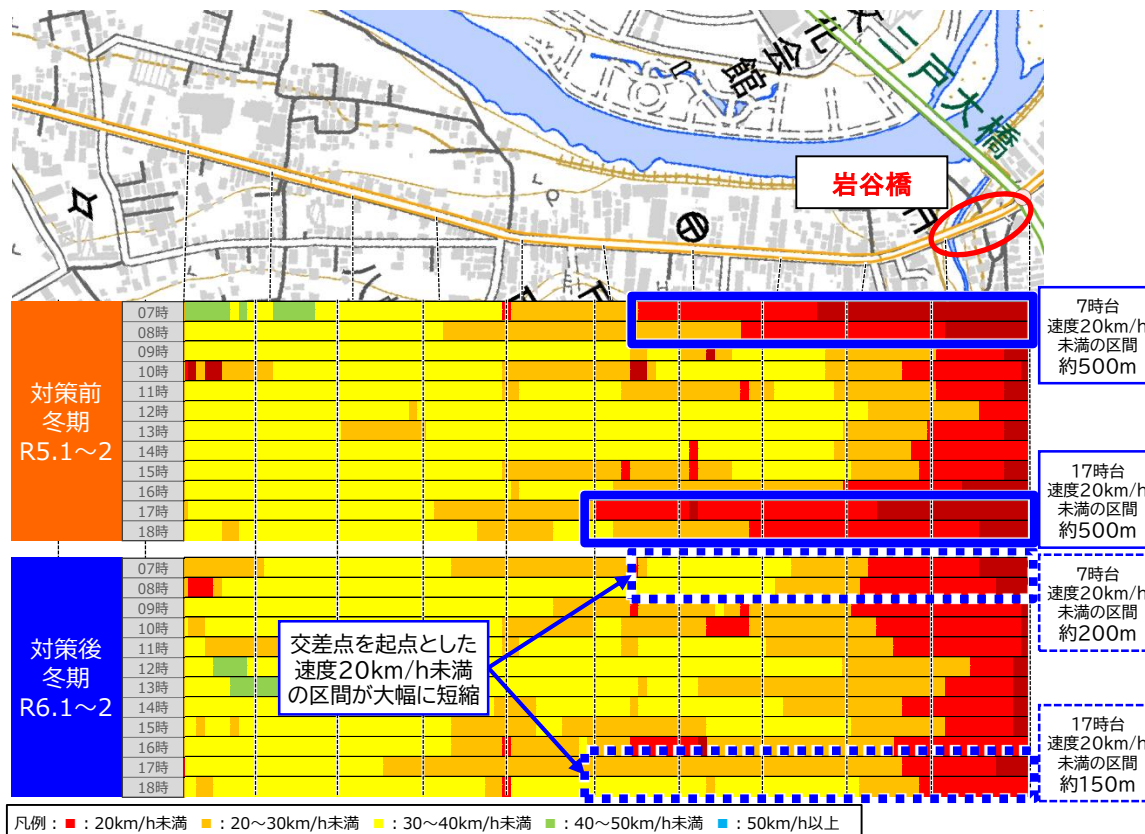
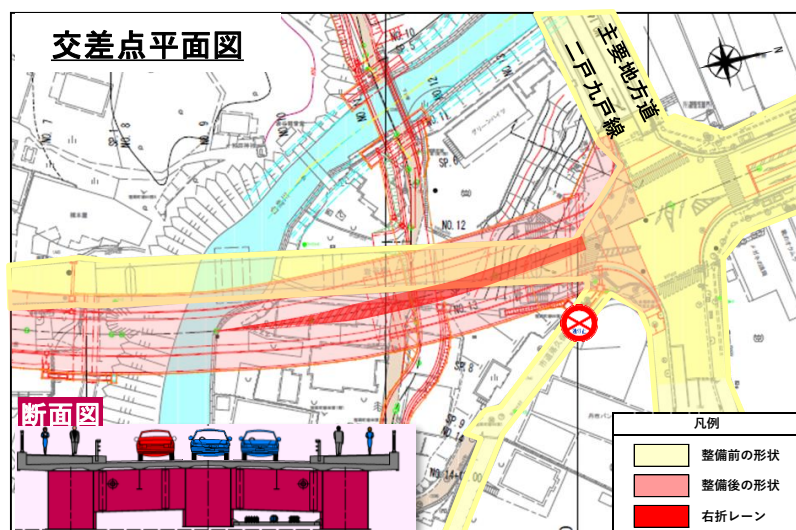


事業効果アピール資料

➤ 本線供用開始による交通渋滞の緩和

整備前は、本路線と主要地方道二戸九戸線の変則交差点であるため、朝夕の通勤・通学時間帯には中心市街地へ向かう車両等により交通渋滞が生じ、円滑な交通に支障をきたしていたもの。

橋梁の架け替えにより、課題となっていた交差点形状の改善と右折矢印信号機付きの右折レーンが設置され、**南北方向の車両通行が円滑になり、交通渋滞が緩和された。**



事業効果アピール資料

➤ 中心市街地における安全で快適な歩行空間の実現

本路線は、二戸市の中心市街地を南北に縦断する幹線道路であり、近隣には市役所等の公共施設や小中学校などの文教施設があり、また商店街も形成されている主要な道路である。

本事業による道路の拡幅と、橋梁歩道部の消融雪設備の整備により、安全で快適な歩行空間を確保することが出来た。

拡幅された歩道部等を活用した完成記念イベントの開催



冬期における歩道消融雪設備の稼働状況



※一部未施工部分があります

事業効果アピール資料

➤ 中心市街地の観光振興に寄与

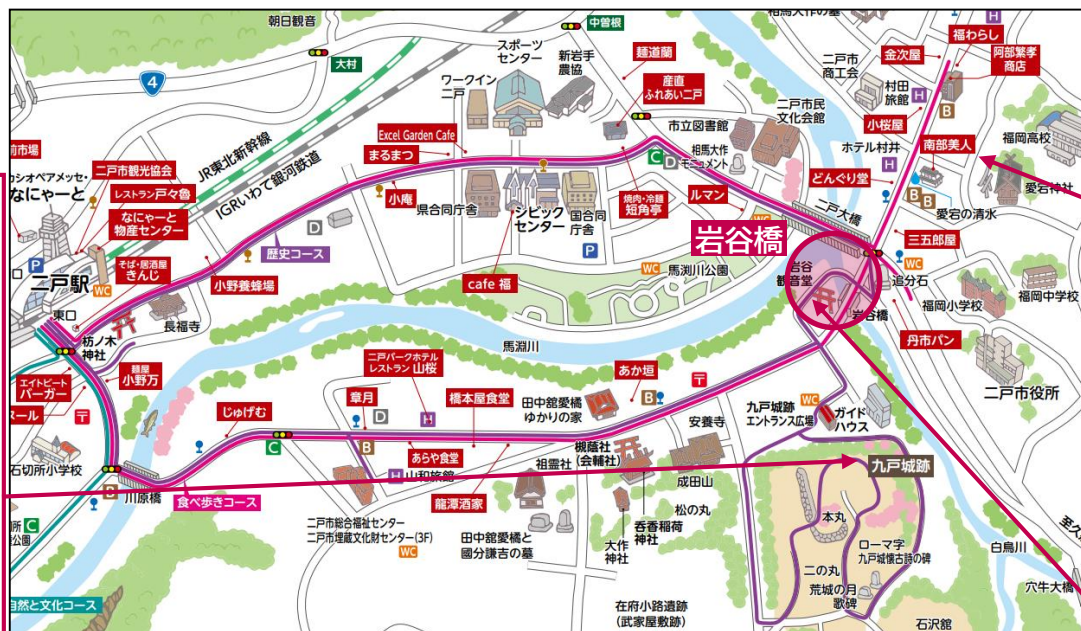
二戸市では、中心市街地の自然、文化、歴史、食などを満喫してもらうため『歩いて、自転車でめぐろう！にのへてくてくマップ』として二戸駅を中心とした周遊ルートを紹介している。

岩谷橋は交通の要衝で、街のシンボリック役割を担っているため、架け替えと線形改良により、**周遊機能が向上し観光振興に寄与することが期待**される。



国指定史跡 九戸城跡 くのへじょうあと

2017年4月6日(城の日)に「続日本100名城」に選定され、ガイドハウスは同スタンプラリーの「九戸城スタンプ」設置場所。九戸政実の居城で、豊臣秀吉の天下統一の最後の合戦の地。政実率いる藩城軍5千は、豊臣方約6万の大軍に包囲され、謀略であった和議を受け入れたことにより落城しました。今も九戸氏への思いから九戸城と呼ばれています。



『歩いて、自転車でめぐろう！にのへてくてくマップ』
二戸市商工観光流通課のホームページから入手することができます。

<https://www.city.ninohe.lg.jp/info/1760>



南部美人
なんぶびじん

日本三大杜氏の一つ、南部杜氏の技術と伝統を受け継ぐ蔵元です。インターナショナルワインチャレンジ(IWC)2017のチャンピオンサケ受賞ほか、国内外での受賞歴多数。



岩谷観音堂
いわやかのんどう

白鳥川の岩壁に据えられた御堂には、かつて川が氾濫した時に引き上げられたといわれる観音像2体が祀られています。御堂の赤い扉が観音開扉は百年に一度。

苦労や工夫等アピール資料

➤ 景観への配慮と橋詰広場の整備

4代目となる橋の整備にあたっては、「景観ワークショップ」や「景観懇談会」などを開催し、地域住民からの提言を踏まえ「自然や歴史を感じながら歩いて渡る橋」を基本コンセプトに、景観との調和に配慮すると共に、橋詰広場を整備した。

これにより、地域の皆様に、より一層愛される橋となるものと期待される。

岩谷橋景観ワークショップ



地元住民・関係者約33名（1回開催）
平成24年1月撮影

岩谷橋景観懇談会



町内会・関係者約15名（3回開催）
平成24年3月撮影

ワークショップの主な意見

地域景観の良い所

- ・自然景観が美しい、四季を感じる場所（白鳥川、馬淵川、折爪岳、河岸段丘の地形等）
- ・「橋から眺める景観と、橋を眺める景観」
- ・歴史景観が素晴らしい（旧奥州街道の名残り、九戸城跡）
- ・地域内の色彩が落ち着いている（町並み、小学校のデザインと色彩）

地域景観の悪い所

- ・地域の建物、施設に統一性がない（岩谷橋が歴史を感じない、五日町の景観が悪い、二戸大橋との景観が合わない、周辺に空き家がある）
- ・ごちゃごちゃしている（車道や歩道が狭く電柱もありごちゃごちゃしている、交差点の見通し悪い、樹木の伐採）

道路や岩谷橋の問題点

- ・構造上の安全性に問題（歩道が狭く危険、食い違い交差点で危険、自転車道がない、舗装が壊れる、歩道が凍結し危険）
- ・日常生活の不便（交通量が多く朝夕渋滞、橋下の市道が不便）
- ・生活上の問題（水はけが悪い、橋が古くて汚い、道に樹木から虫が落ちてくる）

良さを守る

改善する

改良する

今後望まれる理想の景観

- ・歴史的背景を残す景観との調和、ロマン（旧奥州街道、岩谷観音へのアプローチ、歴史を感じる材質、色彩、橋詰めの休憩施設）
- ・橋上からの眺望、橋の眺望（橋にバルコニーを設置し、眺望・憩いスペース、大正5年のアーチ状の橋）
- ・安全の確保（歩道の凍結防止ロードヒーティング、通学生の安全確保、自転車通行、植栽は低木、電柱撤去）

懇談会からの提言

岩谷橋景観計画
提言書

岩谷橋は、二戸市の中心部にあり、周囲には歴史的な建物や施設が多く残されている。このことから、岩谷橋の景観を向上させるためには、周囲の景観と調和させることが重要である。また、橋の構造上の安全性を確保し、日常生活の不便を解消することも必要である。

1. 橋の構造上の安全性を確保すること。歩道の凍結防止ロードヒーティング、通学生の安全確保、自転車通行、植栽は低木、電柱撤去。

2. 橋上からの眺望、橋の眺望を確保すること。橋にバルコニーを設置し、眺望・憩いスペース、大正5年のアーチ状の橋。

3. 歴史的背景を残す景観との調和、ロマンを確保すること。旧奥州街道、岩谷観音へのアプローチ、歴史を感じる材質、色彩、橋詰めの休憩施設。

4. 橋の景観を向上させること。周囲の景観と調和させること、橋の構造上の安全性を確保すること、日常生活の不便を解消すること。

5. 橋の景観を向上させること。周囲の景観と調和させること、橋の構造上の安全性を確保すること、日常生活の不便を解消すること。

6. 橋の景観を向上させること。周囲の景観と調和させること、橋の構造上の安全性を確保すること、日常生活の不便を解消すること。

7. 橋の景観を向上させること。周囲の景観と調和させること、橋の構造上の安全性を確保すること、日常生活の不便を解消すること。

8. 橋の景観を向上させること。周囲の景観と調和させること、橋の構造上の安全性を確保すること、日常生活の不便を解消すること。

9. 橋の景観を向上させること。周囲の景観と調和させること、橋の構造上の安全性を確保すること、日常生活の不便を解消すること。

10. 橋の景観を向上させること。周囲の景観と調和させること、橋の構造上の安全性を確保すること、日常生活の不便を解消すること。

平成24年3月31日
岩谷橋景観計画実行委員会
会長 入慈浩

桁の色彩は岩谷観音と調和する古代朱(二戸市章)色



令和6年1月撮影



二戸市の「二ノハ」をモチーフに、豊かな自然と人間の融和、歴史文化の深さと安心が感じられる形と色彩により、活力のある安全安心な東北の拠点都市・二戸市の飛躍発展を表現しています。



周辺の歴史や観光の魅力を発信する橋詰広場



令和6年1月撮影

渡辺喜恵子氏の歌碑

《小説「南部九戸落城」より》
九戸城落城時に九戸政実の正室と娘の壮絶な最後を描いた節のタイトル『咲くが花なら散るも花』

苦労や工夫等アピール資料

➤ 市民から愛される橋として次世代を担う子供達へ伝承

岩谷橋の高欄に取り付けられた4枚の橋名板は、創立150周年を迎えた福岡小学校の児童の皆さんに揮ごういただき、完成記念イベントにも出席していただいた。明治の時代から引き継がれてきた岩谷橋が、将来に渡って街のシンボルとして在り続けることを期待。

揮ごうの練習風景



児童(5・6年生)の皆さんの集合写真と橋名板のお披露目



岩谷橋の完成記念イベントの様子は、岩手県のホームページから確認することができます。

https://www.pref.iwate.jp/kenpoku/nino_doboku/1015053/1015061.html

受賞歴・報道資料

➤ 新聞掲載

平成24年1月22日(日)岩手日報

『「渋滞解消を」新岩谷橋「景観残して」 架け替えで住民ら意見交換』

平成24年3月20日(火)岩手日報

『新岩谷橋の景観提言書まとめる』

令和5年12月29日(金)岩手日報

『新たな岩谷橋愛着さらに 架け替え完成イベント』

➤ TV報道

令和5年12月25日(月)NHK岩手放送局 岩手のニュース

『二戸市 県道の「岩谷橋」架け替え工事終了 完成祝う式典』